

企業ガバナンス部会 第17期セミナー年間スケジュール（2021年9月～2022年8月）

統一テーマ：実効性ある企業統治に貢献できる社外取締役・監査役等になるために

2022/2/2現在

回次	開催日時	セミナーのテーマ	講師	内容	会場	担当
1	2021.10.29 (金) 14:00～16:00	成長投資とコーポレートガバナンス ～考え方とリスクマネジメント業務・四半期 報告を支えるDXについて～	インテグレート株式会社 代表取締役社長 小川 康氏	稼ぐ力を高め、企業価値向上を達成するために、多くの企業が成長投資を推進しています。このような成長投資のリスクを減らすためには、リスクマネジメントと、減損をはじめとする事業等のリスク開示の改善・取締役会及び監査役会等への四半期定期報告が重要になります。本講演では、まず、各企業における成長投資のリスクマネジメントの取り組み事例と、成長投資のリスクマネジメントの考え方を丁寧に解説します。更に、考え方を実践する際に役立つ、企業内部における成長投資のリスクを可視化・管理し、適切な開示の基礎となる業務システムの概要をご紹介します。	WEB	平井
2	2021.11.25 (木) 14:00～16:00	新コンプライアンス経営とは ～短期主義（ショートターミズム）の弊害排 除とサステナビリティを目指して～	経営倫理学会 常任理事 今井 佑氏	近時の60件の企業不祥事の内、約7割は経営者資質に係る事件である。公益通報保護法があるにも拘らず、社員が経営者を信用していなければ誰も通報しない。これは経営者の倫理観の問題である。上場企業副社長、社外監査役を歴任した講演者が、コンプライアンスの実効性を上げるには「制度と運用と経営者の資質の三位一体の改革」が必須と説く。 これまでも「企業不祥事」をテーマに、企業ガバナンス部会セミナーで何回もご講演頂きましたが、今回は近著『新コンプライアンス経営』（2021/3/31 文真堂）に採り上げた最新の事例と改定コーポレートガバナンス・コードを交えて、どうしたら企業不祥事を無くし、且つ、企業の存在意義（バババ）を踏まえ、中長期の成長可能性（サステナビリティ）を実現できるか皆様に訴えます。	WEB	戸村
3	2021.12.24 (金) 14:00～16:00	社外取締役になるためのTips	御園総合法律事務所 弁護士 武田 智行氏	本年3月から施行されている改正会社法では、上場企業等に社外取締役設置義務が課されることとなり、同じく6月のコーポレートガバナンス・コード改正でも、プライム市場の企業には取締役の3分の1以上の独立社外取締役が求められる等、コーポレートガバナンスにおける社外取締役の重要性はより大きくなっています。このように、社外取締役に対する企業のニーズは高まる一方で、社外取締役への就任を希望しつつも、良い機会に恵まれない方もいらっしゃると思います。本講演では、こうした方々が社外取締役に就任するためのTipsを、コーポレートガバナンスの実務に関する豊富な経験を有する講師が、現在の社外役員人材市場の動向とともにお話しします。社外取締役へのご就任を検討されている方のご参考にして頂ければと思います。	WEB	平井
4	2021.01.31 (月) 14:00～16:00	公益通報者保護法と危機管理 ～SDGs、ESG時代のガバナンスとコンプライ アンス～	國広総合法律事務所 五味祐子弁護士	内部通報者を守る改正公益通報者保護法が6月に施行される。2006年にスタートしたこの法律は、企業不祥事が起こるたびに機能不全が指摘されてきた。今回の改正で通報者の保護を強化し、企業の自浄能力の強化を狙っている。また、経営者が関与する不祥事が相次いだ現実を踏まえ、改正法は経営層から独立性を確保するための措置を講じることを義務付け、ガバナンスの強化を求めている。そして、最近のSDGsやESGの潮流の中で、全ての企業でガバナンスとコンプライアンスの質を見直し、向上させる機会になることが期待されている。	WEB	荻野
5	2022.2.17 (木) 14:00～16:00	最近の社外取締役・監査役の実務課題 —この一年間のまとめと今後の展望—	三優監査法人 会長 杉田 純氏	昨年は、東芝やみずほの不祥事を切っ掛けとした経営混乱が新聞紙上の話題となりました。コーポレート・ガバナンスの強化が進む中で、相変わらず事態が収斂しない日本企業の問題は深刻と言わざるを得ません。昨年6月には、改訂コーポレートガバナンス・コードが施行され、取締役会の実効性の向上、サステナビリティをめぐる課題への取組み、中核人材の多様性への取組みなどが一層求められると同時に、今年4月より東証の上場区分の再編が実施され、プライム市場上場会社を中心により高度なガバナンス対応が求められることとなります。こうした昨今の情勢を踏まえ、改めて社外取締役や監査役が留意しなければならない実務課題を中心に、それへの対応や今後の展望についてお話を頂きます。	WEB	小谷
6	2022.03.16 (水) 14:00～16:00	サステナブル経営とコーポレートガバナンス の進化	東京都立大学大学院 経営学研究科教授 松田千恵子氏	「これならわかるコーポレートガバナンスの教科書」、「ESG経営を強くするコーポレートガバナンスの実践」、「経営改革の教室」など数々の著作のほか、日経新聞にも分かりやすい解説を連載するなどによって、日本のコーポレートガバナンスの質的向上に貢献されている。専門は企業戦略、財務戦略だが、特にファイナンスの観点からのグループ経営、グループガバナンスの論考には定評がある。毎回最新の情報を交えての松田教授の講義は、当部会のセミナーの中でも人気がある。今回は新著「サステナブル経営とコーポレートガバナンスの進化」をもとに同分野のアップデートな情報を解説する。	WEB	平井
7	2022.04.15 (金) 14:00～16:00	企業法務のガバナンス	青山学院大学法科大学院教授 弁護士 NY州弁護士 浜辺陽一郎氏	浜辺陽一郎教授の最新刊「法務コンプライアンス実践ガイド」（清文社）に基づき、企業法務のあり方について、経営者の方々に理解しておいて欲しいポイントについて解説する。	WEB	戸村
8	2022.05.20 (金) 14:00～16:00	持続可能な企業価値向上を支える取締役会の 高度化と内部統制	明治大学 教授 柿崎 環氏	コロナ禍によって加速度的に変化する企業環境のもと、世界的にも上場会社には中長期的な企業価値の向上を図るビジネスモデルが求められている。そのため、これからの取締役会には、企業のリスク情報を適時に捕捉・評価し、企業ミッションを実現する中長期的な経営戦略と事業遂行との整合性を不断にチェックする関連機能の強化と、これに適合する内部統制の実践が喫緊の課題となり、これらを比較法的視点から検討する。	WEB	田中
9	2022.06.22 (水) 14:00～16:00	（仮題）最近の上場審査の視点について ～新市場区分とコーポレートガバナンスコー ドの視点から～	㈱東京証券取引所 上場推進部長 永田秀俊氏 上場審査部長 潮田一成氏	最近のIPO市場の状況、今年4月からスタートした新市場区分、および昨年6月に改訂されたコーポレートガバナンスコードなどの紹介を中心としつつ、独立社外取締役や社外監査役の皆様の役割や期待について、上場審査の事例などを踏まえて紹介する。	WEB	原田
研究会	2022.07._(○) 14:00～16:00	「新しい資本主義」と「日本型コーポレート ガバナンス」について考える	研究会Aグループ	岸田首相が目玉政策の一つとして成長と分配の好循環を目指す「新しい資本主義」を掲げ、その具体化を進めるために「新しい資本主義実現会議」を立上げ、政策提言をし始めている。この機を捉え、企業ガバナンス部会としても、新しい資本主義の目指すべき姿とそれに相応しい日本型コーポレートガバナンスの在り方について考えていきたい。	WEB	田中
	2022.07._(○) 14:00～16:00	持続可能な企業経営を支えるコーポレートガ バナンスを実現するための社外取締役・社外 監査役のあり方	研究会Bグループ	本年6月に大幅なコーポレートガバナンスコードの改訂があり、その特徴の一つは「ボードの監督機能強化」であり、もう一つは「サステナビリティ」への対応である。特に後者については、経営執行側が「サステナビリティ」に万全を期すよう、ボードが監督する役割を担う。一方で、ボード自体の「サステナビリティ」をどう実現するか、も重要である。	WEB	平井